

3 【 仙台市立 片平丁 小学校 】

仙台市立 片平丁小学校

校 歌

土井 晩翠 作詞
大槻 貞一 作曲

一、塊積り山となり

滴集り川となる

青葉の山に広瀬川

向いのぞめる学びの舎

四、小さき幼き今日ながら

二十余年の世々のあと

嗣ぎて第二の国民の

責を務を負わん身ぞ

二、無言の教ゆたかなる

山と水とを見渡して

日々に勉めて一生の

基をこゝに養わん

五、国の内外に名をあげし

傑れし人はいにしえに

今に多きを心して

われ亦跡を追いかん

三、よくはげむ後よく遊び

正しき心すこやかなの

身に智を集め技修め

一日も夢と過すまじ

片平丁小学校は明治6年、五番小学校として開校しました。卒業生には、文化勲章を受章された志賀潔氏や野副鉄男氏、西澤潤一氏をはじめ多くの著名人がおります。

本校は、西に広瀬川と青葉山をのぞみ、学区内に瑞鳳殿もあり、自然や歴史的な環境に恵まれた地域にあります。現在527名の児童が、「身に智を集め技修め 一日も夢と過ごしまじ」の歌詞のように、いきいきと学校生活を送っています。

また、春は「片平地区みんなの大運動会」、夏は「かたひら夏祭り」秋は「かたひら waiwai 広場」、冬は「餅つき大会」と、季節ごとに地域の皆さんと楽しむ行事があります。

大正3年に制定された校歌は、毎年行われる同窓会や姉妹校として交流している北海道白老町の白老小学校でも歌われるなど、大切に歌い継がれています。今日は、プラスバンドの有志が、校歌を披露します。どうぞお聞きください。